【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公開番号】特開2011-205378(P2011-205378A)
【公開日】平成23年10月13日(2011.10.13)
【年通号数】公開・登録公報2011-041
【出願番号】特願2010-70321(P2010-70321)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｂ　5/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　1/59　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　5/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　5/02
Ｈ０４Ｂ　1/59
Ｈ０４Ｌ　5/18

【手続補正書】
【提出日】平成25年3月25日(2013.3.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
通信装置であって、
通信相手との間で用いてデータの送信と受信とを時分割に行う通信手段と、
前記通信装置が前記通信手段を用いて送信する送信対象データが選択された状態かつ該送信対象データを送信する前に前記通信相手から前記通信手段を用いてデータを受信した場合、前記通信装置による前記送信対象データの送信を保留する保留手段と、
前記通信相手との前記通信手段を用いた通信接続が切断された際に、前記保留手段によりデータの送信を保留していた場合、前記通信相手との通信接続を再接続するための処理を行う接続手段と、
前記接続手段による処理に応じた再接続の後に、前記通信相手に前記通信手段を用いて前記送信対象データを送信する送信手段と、
を有することを特徴とする通信装置。
【請求項２】
前記通信相手にデータを送信するか、前記通信相手からデータを受信するかを、前記通信相手と接続する前にユーザに選択させる選択手段をさらに有し、
前記保留手段は、前記選択手段によりデータの送信が選択された場合であり、かつ、前記通信装置がデータの送信を開始する前に前記通信相手からデータを受信した場合に、前記通信装置によるデータの送信を保留することを特徴とする請求項１に記載の通信装置。
【請求項３】
前記保留手段が前記通信装置によるデータの送信を保留した場合、データの送信が保留されていることをユーザに通知する通知手段をさらに有することを特徴とする請求項１または２に記載の通信装置。
【請求項４】
前記通信相手との前記通信が切断されたことを判定する判定手段をさらに有し、
前記接続手段は、前記判定手段により前記通信が切断されたと判定された場合に、前記

通信相手と再接続することを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の通信装置。
【請求項５】
前記通信相手からデータを受信した場合、前記通信相手から受信したデータを処理するための受信アプリケーションを起動する起動手段と、
前記起動手段により前記受信アプリケーションが起動されていない場合に受信したデータを記憶する記憶手段とをさらに有し、
前記受信アプリケーションは、前記起動手段により起動されると前記記憶手段から記憶したデータを取得することを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の通信装置。
【請求項６】
前記通信相手からデータを受信した場合、前記通信相手にデータを送信するための送信アプリケーションを停止する停止手段をさらに有することを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の通信装置。
【請求項７】
前記通信手段は、誘導電界を用いて通信することを特徴とする請求項１乃至６のいずれか１項に記載の通信装置。
【請求項８】
通信相手との間で用いてデータの送信と受信とを時分割に行う通信手段を有する通信装置の制御方法であって、
前記通信装置が前記通信手段を用いて送信する送信対象データが選択された状態かつ該送信対象データを送信する前に前記通信相手から前記通信手段を用いてデータを受信した場合、前記通信装置による前記送信対象データの送信を保留する保留工程と、
前記通信相手との前記通信手段を用いた通信接続が切断された際に、前記保留工程においてデータの送信を保留していた場合、前記通信相手との通信接続を再接続するための処理を行う接続工程と、
前記接続工程における処理に応じた再接続の後に、前記通信相手に前記通信手段を用いて前記送信対象データを送信する送信手段と、
を有することを特徴とする通信装置。
【請求項９】
コンピュータにより実行され、通信装置の制御を行うためのプログラムであって、請求項８に記載の制御方法を実現するためのプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明の通信装置は、通信相手との間で用いてデータの送信と受信とを時分割に行う通信手段と、前記通信装置が前記通信手段を用いて送信する送信対象データが選択された状態かつ該送信対象データを送信する前に前記通信相手から前記通信手段を用いてデータを受信した場合、前記通信装置による前記送信対象データの送信を保留する保留手段と、前記通信相手との前記通信手段を用いた通信接続が切断された際に、前記保留手段によりデータの送信を保留していた場合、前記通信相手との通信接続を再接続するための処理を行う接続手段と、前記接続手段による処理に応じた再接続の後に、前記通信相手に前記通信手段を用いて前記送信対象データを送信する送信手段とを有する。